

公益財団法人 宮崎県スポーツ協会表彰

公益財団法人宮崎県スポーツ協会スポーツ功労賞・優秀賞・奨励賞・推進賞（令和2年度）の表彰は総合開会式の中絶を受けて、郵送にて行いました。

宮崎県スポーツ協会表彰とは、多年にわたり本県体育・スポーツの普及・振興に寄与され、その功績の顕著な方をスポーツ功労者として、また、国内外のトップレベルの大会で優秀な成績を取めた方をスポーツ優秀者として、そして、国内外のトップレベルに準ずる優秀な成績をあげた方にスポーツ奨励者として、県民に感動を与え又は、本県の発展に貢献された方をスポーツ推進者として表彰するものです。受賞者は以下のとおりです。

スポーツ功労賞（個人）



日高 勝己

日南市において30年以上空手道の指導を行っており、競技力向上及び普及・発展に貢献された。



三井 寿展

自転車競技者としてオリンピック代表候補選手にまで残った選手であり、現在は県北を中心に自転車競技の普及活動をされている。



森田 廣行

審判員の指導育成に積極的に努められ、また少年野球等の底辺拡大及び指導者の育成に努力し、現在の隆盛の基礎を築かれた。



太田 知英子

全国規模の大会や九州規模の大会の運営役員として貢献された。



垣内 文昭

高校生男子の研修大会を開催され、本県の少年男子の競技力向上に貢献された。



甲斐 友久

少年サッカーの指導者として活躍され、青少年育成に尽力された。また、スポーツイベント等にも熱心に取り組み、高崎地区の体育・スポーツの振興に大きく寄与されている。



仲原 登志

佐土原町グラウンド・ゴルフ協会の理事として、会員拡大、会員相互の親睦融和、健康づくりに取り組み地域の活性化に努められている。



武田 邦重

23年間にわたり清武町グラウンド・ゴルフ協会の事務局長として会員を取りまとめ、地区大会の企画・運営に取り組み会員の親睦融和と健康づくりに貢献された。



井手口 あけみ

宮崎県体操協会副会長として組織を支えることはもとより、大会では常に競技役員と大会運営に携わられている。

スポーツ功労賞 (団体)

新富町グラウンド・ゴルフ協会

生涯スポーツとし、親睦融和・健康維持を第一に組織活動をする姿は模範である。また練習会、交歓会を積極的に開催し、高齢者の仲間づくりに貢献された。ルール・マナー・技術に優れ、リーダー的の団体である。

スポーツ優秀賞 (個人)



藤岡 駿平

仙台大学 漕艇部 (ボート競技)

- 第98回全日本選手権大会
ボート競技 第3位
- 第47回全日本大学選手権大会
ボート競技 第2位



長友 俊之

宮崎県警察 交通部 高速道路交通警察隊 (自転車競技)

- JBCF 全日本トラック
チャンピオンシップ 1km
タイムトライアル 8位
チームスプリント 2位



枝村 弘樹

朝日大学 (自転車競技)

- 第89回全日本自転車競技
選手権大会 トラック・レース
チームパシュート 準優勝



羽賀 龍之介

旭化成株式会社 (柔道競技)

- 全日本柔道選手権大会
公益財団法人全日本柔道連盟 優勝



太田 彪雅

旭化成株式会社 (柔道競技)

- 全日本柔道選手権大会
公益財団法人全日本柔道連盟
準優勝



石内 裕貴

旭化成株式会社 (柔道競技)

- 全日本柔道選手権大会
公益財団法人全日本柔道連盟 第3位



甲斐 涼

東海大学陸上競技部 (陸上競技)

- U20 全国陸上競技大会
種目: 女子円盤投
成績: 1位 43m33